

民謡民舞フェスティバル

10月9日(日) 12:30開場、13:00開演
コラニー文化ホール・小ホール

未来にはばたく子供たち

10月9日(日) 第2部
コラニー文化ホール・小ホール

開催状況

平成28年10月9日(日)コラニー文化ホール小ホールに於いて、第16回やまなし県民文化祭民謡民舞フェスティバルが開催されました。

19団体、約300人が出演、全30曲の唄と踊りを発表。ナレーションは前回と同様、朗読部門の永田京子さんにお願いました。

プログラムは四部構成から成り、第1部「がんばれ九州、復興に祈りをこめて」では、被災された方々にエールを送る気持ちを込めて九州地方の民謡を唄と踊りの共演曲として、披露しました。第2部「未来にはばたく子供たち」、昨年に続き参加促進事業として、38名の子供達が参加、出演してくれました。

津軽三味線の曲弾き、武田節の合唱、踊りは白虎隊と斉太郎節、2曲が出ました。斉太郎節では保育園児17名による演技で、手作りの大漁旗を大きく振り乍ら元気に踊る姿に会場からも大きな拍手と声援をいただき、大変好評でした。

第3部「ふるさと やまなしの唄と踊り」では、古くから伝わる民謡、新しく作られた曲と、山梨ゆかりの曲を発表しました。

第4部「唄いつがれる全国の民謡」では、各団体が日々練習を重ねた曲を、合唱、独唱、また演奏、群舞などを披露しました。

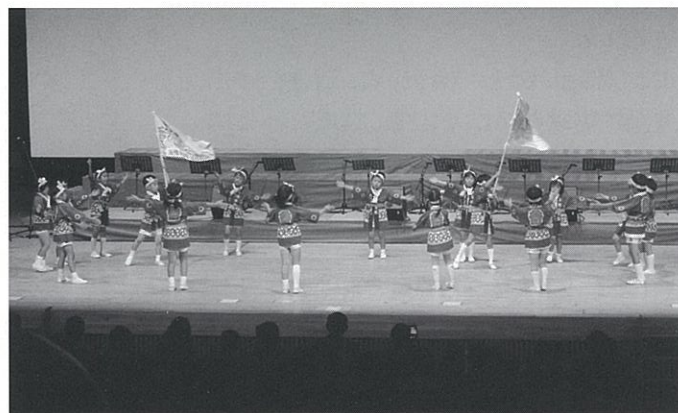
フィナーレは、毎年恒例となりました「甲州よっちゃばれ踊り」では、出演者多数が参加し、賑やかな舞台となり幕を降ろすことが出来ました。今回も来場下さった皆さんに、アンケートをお願いしましたが、毎年楽しみに観に来て下さる方が多く、大変嬉しく思っています。また、子供達の舞台も好評で、ここ2年続いた、参加促進事業が、この先も続いて行けるよう子供達の育成に力を入れて行きたいと思えます。

○民謡民舞フェスティバル

参加団体……………19団体
出演者数……………300名
入場者数……………700名

○未来にはばたく子供たち

指導者数……………4名
参加者数……………38名



書道展

10月26日(休)～11月1日(火) 9:00～17:00 (最終日は15:00まで)
山梨県立美術館・県民ギャラリーA・B・C

書道体験教室～カレンダーに書いてみよう～

12月17日(土) 14:00～16:30
山梨県立美術館・ワークショップ室

開催状況

平成28年10月25日、中央書壇より永守蒼穹先生をお招きして審査会が行われた。応募総数306点、「全作品が入選のレベルに達している」という先生のお言葉と展示許容数の範囲でもあるということから、委嘱作品61点と合わせ計367点を展示した。

「全国的に見てもレベルの高い県である。古典に立脚した作品、現代性に富んだ都会的な作品等、上位入賞作品は格調高いものであった。日本書壇の総ての流れを網羅してバラエティーに富んでいる」との総評を頂いた。

審査の結果、県民文化祭賞には、窪田博堂さんの一字書「幽」が輝いた。その評は「ふてぶてしい黒い線が白を生かしている。エネルギーで躍動感に満ちインパクトのある作品である」とのことであった。その他、準県民文化祭賞1点、優秀賞9点、奨励賞10点の計21点が選出された。

そして、今年も2回のギャラリートークを実施した。担当者それぞれがトークに工夫を凝らし参加者に好評であった。

又、12月17日には、書道部門恒例となった参加促進事業「書道体験教室」のカレンダー作りを美術館ワークショップルームで開催した。用意したカレンダーが全て無くなってしまふ程の盛況であった。



○書道展

応募点数

漢字	157点
一字書	55点
調和体	25点
かな	40点
篆刻	10点
刻字	19点
(公募) 出品総点数	306点
委嘱出品数	61点
陳列総点数	367点
入場者数	1,020名

○書道体験教室

指導者数	10名
参加者数	120名

華道展

10月12日(水)～17日(月) 10:30～19:00
山交百貨店・5階催事場

いけばな体験教室

4月23日(土)・24日(日) 13:30～16:00
岡島百貨店・7階大催場 (県華道協会展会場内)

開催状況

第16回やまなし県民文化祭華道展は第15回と同一会場の山交百貨店5階催事場において開催しました。第15回展に更に工夫を加えた会場作りに入場者も3,000名を超え、華道展開催に会場を提供された山交百貨店から感謝の意を受けました。

又「いけばな体験教室」の開催は、会場の都合により、昨年に引き続き第24回県華道協会展開催会場の一隅(岡島百貨店7階)で実施しました。準備した花材数以上の体験者の参加に急遽花材調整に工夫を加え、過剰参加者への対応に努めました。つぎへの開催課題として開催毎の参加者増への対応方法も検討したいと考えています。

○華道展

出瓶者数

山梨県華道協会加盟流派代表

…19名

同流派選抜会員…………… 114名

合計…………… 133名

入場者数…………… 3,216名

○いけばな体験教室

参加者数……………120組 (2日間)

指導者…………… 38名 (2日間)

(19×2日間)



ハンドクラフト展

11月12日(土)～18日(金) 9:00～17:00
(最終日は15:00まで)

山梨県立美術館・県民ギャラリーC

ハンドクラフト体験教室

7月24日(日) 10:00～15:30
甲府市遊亀公民館・講義室2号

開催状況

第16回やまなし県民文化祭「ハンドクラフト展」は、山梨県立美術館・県民ギャラリーCで開催されました。

展示内容は押花絵・創作人形・籐工芸・工芸盆栽・アメリカンフラワー・銀粘土・布3Dアート・能面・粘土工芸・デコパージュ・ステンドグラス・ストーンアート・皮革工芸・銅版工芸・フォークアートペインティング・陶芸・織物・ペーパークラフト・レカンフラワー・一閉張と20分野の作品展示、その中には伝統工芸作品も含まれ、見ごたえのある作品展となりました。最終日に表彰式を実施し5名の方を表彰しました。大賞の創作人形は、きめ細かな手作りの中にユーモラスな雰囲気もある作品で心なみしました。次点のステンドグラスは、色鮮やかな色彩がひとときわ輝いて会場が華やかな雰囲気になり、皆様に好評でした。

体験教室は募集人数より多くの応募者があり好評でした。今回の体験教室では、ハンドクラフトの内容を知っていただく機会とするため、会場内に専門委員の作品を展示したところ、作品に熱心に見入る子どもがたくさんいました。

会員一同技術の向上に努力し、県民の皆様に感動し、楽しんでいただけるよう精進していきたいと思っています。



○ハンドクラフト展

参加者数 会員……………12名
一般公募入選者……60名
合計……………72名

入場者数……………1,245名

○ハンドクラフト体験教室

参加者数……………74名
指導者……………5名

洋舞公演・ダンスフェスティバル2016

11月19日(土)

15:30開場、16:00開演

甲府市総合市民会館

開催状況

第16回県民文化祭、今回は募集により参加して下さった1団体を加え6団体が参加、作品13作品を披露した。観客人数600人を動員、無事終了することができた。

合同公演である以上規定時間の中で作品を発表しなければならない。良い舞台を作る為に毎回出演するダンサーに合ったものをひねり出す為に頭を悩ませる。

今回の参加者は子供達がとても多く、伸びやかで楽しい作品が多く見受けられた。観客席からは大きく暖かな拍手をもらい、子供達は舞台に立つ喜びに心が満たされたことだろう。子供達はこうして育ってゆく。少子化、時間的ゆとりの無さは年々とはっきりとその姿を私達の前に現し、問題の根深さを痛感する。今バレエが好きで稽古を続けるこの子供達が、縮んでしまわないよう出来る限りの努力を考えたいと思った。

参加団体	6団体
出演者数	135名
入場者数	600名



朗読フェスティバル

11月27日(日) 12:30開場、13:00開演
山梨県立文学館・講堂

夏の朗読教室

8月7日(日) 10:00~15:30
山梨県立図書館・多目的ホール

開催状況

・朗読フェスティバル

「朗読フェスティバル」は11月27日に県立文学館講堂において開催されました。朗読を楽しむ交流の輪を広げる趣旨のもと、公募による出演者は15組24名となりました。

二部構成の前半は、小・中学生や大学生による若さあふれる発表と図書館ボランティアや読み聞かせのベテランによって話題の作品を楽しめる構成となりました。後半は朗読を愛好する皆さんが文学作品を情感豊かに表現する晴れやかな舞台となりました。

聴衆に深い感銘を与える大きな要素となる音響、照明、構成、演出などを専門委員が担当しました。舞台の装飾はフラワーデザイン部門に依頼し静寂のなかにも華やかな空間を創作していただきました。

山梨県は全国に類を見ないほど朗読の活動が盛んな土地柄です。裾野の拡がりに続いて、表現力の向上と若年層の参加に期待します。

・夏の朗読教室

小学校の朝読書や児童館の読み聞かせの活動を通して参加を募ります。夏休みの体験がフェスティバルの出演につながるよう参加を促進する活動です。

○朗読フェスティバル

出演者(組)数……………15組24名
入場者数……………230名

○夏の朗読教室

指導者数……………9名
参加者数……………71名



日本舞踊公演

11月6日(日) 11:30開場、12:00開演
コラニー文化ホール・小ホール

次代へ伝統芸能の魅力を継承

11月6日(日)
コラニー文化ホール・小ホール

開催状況

第16回やまなし県民文化祭日本舞踊公演をコラニー文化ホールで11月6日(日)に開催いたしました。1年に2回の公演は今までに考えられない贅沢な展開ですが、私の個人的なたっての要望のものでした。今回会員の減少の中、部門長と翠扇会の協力によるものでしたが最後まで満席の賑やかなものになりました。総勢24名(甲府伝統文化子ども教室、彩三郎門下生、鶯久光門下生含め10名)翠扇会社中の若手を中心に古典14曲の見ごたえのある作品に会場の拍手、大向こうが飛び交い、又今回は以前より振付、ご指導をいただいております花柳輔太郎師の卓越した「風流舟揃」を披露していただき、この日舞公演を盛り上げてもらいました。次代の若手の熱のこもった演技、子供達の可愛らしい踊りに観客の方々の反応に手ごたえを充分感じました。日舞部門は昨年数少ない会員の中から5名の退会者が出て、花柳流だけでは日舞部門として、どうかという意見もあり、部門も存続か否かという問題を早急に解決しなければと考えております。

参加流派	花柳流、翠扇会
出演者数	25名
入場者数	700名



文 学

表彰式 平成29年2月25日(土) 14:00~16:30
山梨県立文学館・研修室

小説ワークショップ

11月23日(水・祝) 13:00~16:30
山梨県生涯学習推進センター・交流室A

開催状況

第16回やまなし県民文化祭文学部門の作品募集は、例年どおり、小説・児童文学・エッセイ・詩・短歌・俳句・川柳の7部門で実施し、267名の方から273作品をお寄せいただきました。部門ごとに審査した結果、選ばれた受賞者のみなさんには、2月25日に行われた表彰式で賞状を授与しました。今年度は、異なるジャンルで受賞を重ねてこられた方や、優秀賞を連続して受賞されてきた方の県民文化祭受賞が印象に残りました。これからも続けて創作活動に励んでいただきたいと思います。

参加促進事業は、本年度は小説部門で実施しました。専門委員の鬼丸智彦氏、石川博氏に講師を務めていただき、小説のワークショップを開催したところ、22名の参加がありました。ワークショップでは、前半に「文章の書き方の基礎」「よい小説とは」の演題で、両講師にご講演いただきました。後半は、「羅生門」の感想を述べ合う他、参加者に事前に執筆・提出していただいた「羅生門」の続編の、講師による講評と作者の解説を行いました。提出していただいた「羅生門」の続編はそれぞれがとても個性的で、講師も高く評価していました。参加者の中には、既に県民文化祭の文学部門に作品応募している方もいらっしゃいましたが、それ以外の方には、今後、作品を御応募くださることを期待しています。

○応募者数

- 小説..... 7名
- 児童文学..... 8名
- エッセイ..... 16名
- 詩..... 19名 (25作品)
- 短歌..... 72名
- 俳句..... 69名
- 川柳..... 76名
- (合計)..... 267名 (273作品)

○小説ワークショップ

- 講師..... 2名
- 参加者数..... 22名



県民文芸 2016



第16回やまなし県民文化祭文学作品集
「県民文芸2016」